

学びのドリームプラン

第2学年2組 国語科

単元名：「はんたいことばカルタ大会」をひらこう
「はんたいのいみのことば」

指導者 夏 純子

児童の願い

反対の意味の言葉をたくさん覚えて使えるようになりたい。



ゴール

「はんたいことばカルタ大会」を開く。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・身の回りにおける対義語を情報収集の方法を工夫し、目的をふまえて主体的に集めようとしている。	・主体的に身の回りにおける対義語を集めようとしている。
【思考力】	・対義語について意味と使い方を関連付けて、効果的な使い方を考えている。	・対義語について意味と使い方を関連付けて考えている。
【自己理解】	・言葉の役割や語彙を増やすことの大切さに気づき、進んで語彙を増やそうとしている。	・言葉の役割や語彙を増やすことの大切さに気付いている。

本単元で付けたい力

- ・対義語の言葉の意味を考えて、短文を作ることができる。
- ・対義語にはどのようなものがあるかを理解している。

【書くこと ウ】

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ウ)】

言語活動

はんたいの意味のことばを集めて「はんたいことばカルタ」を作る。

「課題発見・解決学習」の過程(全6時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力	
課題の設定(1) ○はんたいの意味のことばに興味をもち、学習の見通しを立てる。 ・言葉には対義語があることを知り、ゴールの見通しをもって学習計画を立てる。 ・知っている対義語を挙げ、対義語について興味をもつ。	身の回りにおける反対の意味の言葉を集める ↓ 【本時】	
情報の収集(1) ○対義語を集める。 ・いろいろな対義語について知り、生活体験と関連付けてどんなときに使うかを考え、対義語カードを作る。		主体性
整理・分析(1) ○いろいろな対義語について理解する。 ・作った対義語カードを交流し、同じ言葉でも意味の違うものがある対義語と一つの意味しかない対義語に分類し、同じ言葉でも使い方が違うことに気付く。		思考力

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>まとめ・創造・表現（２）</p> <p>○収集した対義語を使って，短文（カルタの読み札）を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでどの対義語を使って短文を作るかを決める。 ・短文を読み札に書き，対義語を取り札に書く。 	思考力
<p>○「はんたいことばカルタ大会」を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手は作った短文を読み，取り手はその意味を考えて対義語の取り札を取る。 	
<p>振り返り（１）</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自分の学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに立てた「学びのモニタリング」の視点で，身の回りにある対義語集めやカルタ作りなど，カルタ大会への取組を基に，自分の学びを振り返る。 	自己理解